

令和5年度ステップアップ研修（5年経験者研修）

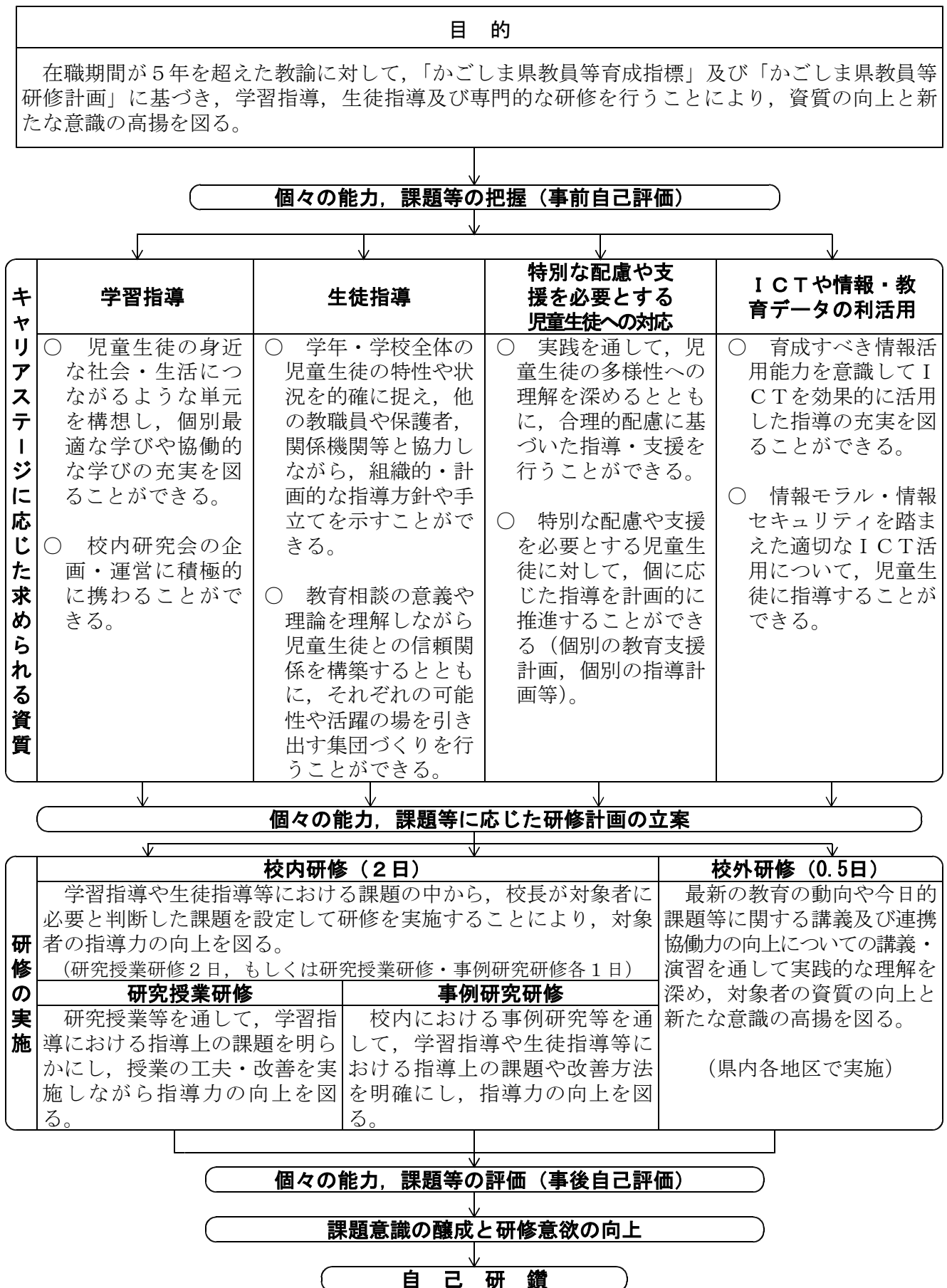
実施の手引〔教諭〕

鹿児島県教育委員会

目 次

1	ステップアップ研修（５年経験者研修）の全体像〔教諭〕	1
2	評価について	2
(1)	評価の目的	
(2)	評価の実施	
(3)	評価項目	
3	研修計画について	4
(1)	研修計画書作成の基本的な考え方	
(2)	校内研修（２日）	
(3)	校外研修（0.5日）	
4	研修報告について	5
(1)	事前自己評価票・研修計画書の提出	
(2)	事後自己評価票・研修報告書の提出	
(3)	修了者一覧の提出	
5	その他	5
(1)	研修の変更	
(2)	人事異動による転出者の取扱い	
＜令和５年度ステップアップ研修（５年経験者研修）様式等＞		
様式 1	事前自己評価票	6
様式 2	研修計画書・報告書	9
様式 3	事後自己評価票	10
様式 4	受講予定変更届	13
様式 5	事前自己評価票集計表（小・中・義務教育学校教諭用）	14
様式 6	修了者一覧	15
様式 7	事後自己評価票集計表	16
〈様式 4	記入例〉	17

1 ステップアップ研修（5年経験者研修）の全体像〔教諭〕



2 評価について

(1) 評価の目的

本研修の意義を踏まえ、対象者自らがこれまでの教職生活を振り返り、自己の姿を見つめ直すことを通して、実践・研修に生かすことは、これから実施する研修の意味や意義を考えることにつながる。また、研修の成果や課題を集約することは、自己の変容や伸びを捉えるために必要である。そのため、対象者は、本研修の事前と事後において、事前自己評価票（様式 1）、事後自己評価票（様式 3）を用いて、自己評価を行うものとする。

ア 事前自己評価

校長は、研修対象者（以下「対象者」）に、自己の課題や適性を客観的に捉えることができるように「かごしま県教員等育成指標」及び「かごしま県教員等研修計画」に示された求められる資質を基に自己評価を行わせ、充実した実践・研修を実施するための参考資料として生かす。

イ 事後自己評価

校長は、対象者に事前自己評価票（様式 1）を基に、研修の成果と課題を明確にして事後の自己評価を行わせ、対象者の以後の研修に生かす。

(2) 評価の実施

ア 学校において

(ア) 事前の評価

- ・ 校長は、事前に対象者に研修の概要を説明し、研修の目的及び内容・方法等について十分理解させる。特に、評価については、評価の目的及び項目等を提示しながら十分な理解が得られるように努める。
- ・ 校長は、教頭をはじめとする関係職員の意見等も幅広く聴取し、対象者の能力及び適性等の適正な把握に努める。
- ・ 校長は、事前自己評価票（様式 1）を用いて、対象者に日頃の状況等を基に自己評価させ、事前自己評価票の「校長としての本研修に対する期待」の欄を記入するとともに、対象者の本研修に対する研修意欲が高まるように指導する。
- ・ 評価は、対象者の実践・研修がより充実するための参考資料として生かす。

※ 校長は、対象者に 5 月中旬を目途に事前自己評価票を提出させる。

(イ) 事後の評価

- ・ 校長は、研修期間中、対象者の実践・研修状況の把握に努める。
- ・ 校長は、事後自己評価票（様式 3）を用いて、対象者に実践・研修状況を基に自己評価させるとともに、事後自己評価票の「校長としての本研修に対する総括」を記入する。
- ・ 校長は、研修の成果と新たな課題を明確にして、対象者の今後の研修に対する研修意欲が高まるように指導する。

※ 校長は、対象者に 12 月中に事後自己評価票を提出させる。

イ 市町村教育委員会において

(ア) 事前評価及び事後評価

市町村教育委員会は、県が示す様式（様式 1 及び様式 3）に従い、各学校に対し

て、適正な評価が実施されるよう、評価項目の内容や評価の実施方法、留意事項等について十分に理解させる。さらに、対象者の能力及び適性等の幅広い情報収集と適正な把握に努める。

(イ) 評価の集計

市町村教育委員会は、各学校が提出した事前自己評価票及び事後自己評価票を集計する（様式５及び様式７）。

(3) 評価項目

５年経験者研修の目的や育成する資質等を踏まえ、対象者の能力及び適性を総合的に把握するために、次の「かごしま県教員等育成指標」の「求められる資質」の観点から評価票の評価項目を設定している。

ア 学習指導

主として、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を行うことで「主体的・対話的で深い学び」を実現するための資質である。学習者主体の授業を創造するため、子供観・授業観の転換や深い教材研究とともに、カリキュラム・マネジメントや教職員集団の同僚性を促進する授業研究など学校全体での取組を推進できることが求められる。

イ 生徒指導

主として、児童生徒が社会の中で、自分らしく生きることができる存在へと自発的・主体的に成長や発達する過程を支え、指導や援助を行うための資質である。児童生徒一人一人の特性や心身の状況を捉え、良さや可能性を伸ばす姿勢を基に、生徒指導、教育相談、キャリア教育、進路指導、学級経営などを組織的に推進できるようになることが求められる。

ウ 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応

主として、特別な配慮や支援を必要とする子供の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、子供一人一人の教育的ニーズを把握し、環境を含めた相互作用においてその持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うための資質である。「ア 学習指導」、「イ 生徒指導」を個別最適に行うものとしての位置付けとなり、特別支援教育に専門性を持って関わる教員等だけでなく、全ての教員等が身に付けるべき資質となる。

エ ICTや情報・教育データの利活用

主として、ICTや先端技術を効果的に活用することにより、個別最適な学びや協働的な学びの実現につながる情報・教育データの蓄積・分析・利活用、校務の負担軽減等を図るための資質である。「ア 学習指導」、「イ 生徒指導」、「ウ 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応」を効果的に行うためにも身に付けることが求められる。

3 研修計画について

(1) 研修計画書（様式2）作成の基本的な考え方

校長は、本研修の趣旨を十分に踏まえ、対象者の能力や課題に応じた研修計画を作成し、課題意識の醸成と研修意欲の高揚を図る。

(2) 校内研修（2日）

ア 実施時期

5月～12月

イ 実施内容

(ア) 各研修のねらい

a 研究授業研修のねらい

研究授業等を通して、学習指導における指導上の課題を明らかにし、授業の工夫や改善を実践しながら、対象者の指導力の向上を図る。

b 事例研究研修のねらい

学習指導や生徒指導等における課題の中から、校長が対象者に必要と判断した課題を設定して研修を実施することにより、対象者の指導力の向上を図る。

(イ) 実施方法について

全ての校種において、研究授業研修及び事例研究研修から研修を選択し、実施する。研修の形態は次のようになる。

a 研究授業研修2日

b 研究授業研修1日及び事例研究研修1日

(ウ) 実施上の留意点

a 授業を行う教科等については、対象者と校長が協議の上設定する。

b 1日の研修時間は3単位時間以上とする。

c 事例研究研修については、校内の全体研修のうち、その内容が本研修と同じで、かつ研修の効果が期待できるものであれば、本研修として位置付けてもよい。その際、対象者が事例発表をするなど主体的に取り組めるよう配慮すること。

(3) 校外研修（0.5日）

ア 実施時期

6月～11月（各地区で設定する。）

イ ねらい

教育の今日的課題等に関する共通研修を実施することにより、対象者の資質の向上と新たな意識の高揚を図る。

ウ 実施場所

県内分散会場で実施する。

※ 地区ごとの小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の対象者を集めて研修を行う。

※ 総合教育センターと各教育事務所が共同で実施する。

エ 留意事項

詳細については、別途文書で通知する。

4 研修報告について

(1) 事前自己評価票、研修計画書の提出（鹿児島市は除く。）

- ア 対象者は、事前自己評価票（様式 1）を基に自己評価を行い、校長に提出する。
- イ 校長は、事前自己評価票に「校長としての本研修に対する期待」を記入するとともに、対象者への指導に活用する。
- ウ 校長は、事前自己評価票（様式 1）等を基に研修計画書（様式 2）を作成する。
- エ 事前自己評価票及び研修計画書は、小・中・義務教育学校、市立高等学校は市町村教育委員会へ、県立学校は県総合教育センターへ提出する。
- オ 市町村教育委員会は、校長から提出された事前自己評価票（様式 1）を事前自己評価票集計表（様式 5）に集計し、研修計画書とともに教育事務所に提出する（小・中・義務教育学校分）。また、市立高等学校分は様式 1 及び様式 2 を県総合教育センターへ提出する。
- カ 教育事務所は、市町村教育委員会から提出された事前自己評価票集計表（様式 5）を取りまとめ（事前自己評価票集計表（様式 5）に集計）、県総合教育センターへ提出する。

(2) 事後自己評価票、研修報告書の提出（鹿児島市は除く。）

- ア 対象者は、事後自己評価票（様式 3）を基に自己評価を行い、校長に提出する。
- イ 校長は、事後自己評価票に「校長としての本研修に対する総括」を記入するとともに、対象者への指導に活用する。
- ウ 校長は、全ての研修終了後、研修報告書（様式 2）を作成する。
- エ 事後自己評価票及び研修報告書は、小・中・義務教育学校、市立高等学校は市町村教育委員会へ、県立学校は県総合教育センターへ提出する。
- オ 市町村教育委員会は、校長から提出された事後自己評価票（様式 3）を事後自己評価票集計表（様式 7）にまとめ、研修報告書とともに教育事務所に提出する（小・中・義務教育学校分）。また、市立高等学校分は、様式 2 及び様式 3 を県総合教育センターへ提出する。
- カ 教育事務所は、市町村教育委員会から提出された事後自己評価票集計表（様式 7）を取りまとめ（事後自己評価票集計表（様式 7）に集計）、県総合教育センターへ提出する。

(3) 修了者一覧の提出

- ア 市町村教育委員会は、研修の修了確認後、修了者一覧（様式 6）を当該教育事務所へ提出する。
- イ 教育事務所は、市町村教育委員会から提出された修了者一覧を取りまとめ（修了者一覧（様式 6）に集約）、県総合教育センターへ提出する。
- ※ 県立学校は、提出の必要はない。

5 その他

(1) 研修の変更

対象者が、退職、育休、休職等の理由により、当該研修を受講できないことが判明した場合、校長は、速やかに「ステップアップ研修（5年経験者研修）受講予定変更届」（様式 4）を作成し、市町村立学校は当該市町村教育委員会に報告し、市町村教育委員会は、当該教育事務所を通して県総合教育センターへ報告する。なお、鹿児島市教育委員会及び県立学校は、直接、県総合教育センターへ報告する。また、市立高等学校は、当該市教育委員会を通して県総合教育センターへ報告する。

(2) 人事異動による転出者の取扱い

対象者が人事異動により転出した場合、転出元の市町村教育委員会（県立学校は校長）は、転出先の市町村教育委員会（県立学校は校長）に異動報告書（様式等については、別途発出予定）を送付する。

様式 1

令和5年度ステップアップ研修(5年経験者研修) 事前自己評価票
(小・中・義務教育学校教諭用)

学校名	立	学校	氏名
-----	---	----	----

1 あなたは次の項目について、現在、どの程度の取組状況ですか。各項目について、示された観点ごとに4段階（1～4）で評価し、自己評価欄に1～4の数字を記入してください。
〔4：十分に取組んでいる 3：取組んでいる 2：あまり取組んでいない 1：取組んでいない〕

項 目	観 点	自 己 評 価	
学 習 指 導		① 児童生徒の身近な社会・生活につながるような単元の構想	
		② 個別最適な学びや協働的な学びを踏まえた指導の工夫	
		③ 校内研究会の企画・運営への積極的な関わり	
	教科指導等 (小学校は外国語活動も含む。)	① 年間指導計画に基づいた教育課程の適切な実施	
		② 単元(題材)の目標を踏まえた指導の工夫	
		③ 児童生徒の実態の適切な把握と分かる授業の展開	
		④ 評価規準に基づいた指導と評価の一体化	
	特別の教科 道 徳	① 年間指導計画に基づいた教育課程の適切な実施	
		② 学級における指導計画の作成	
		③ 題材のねらい(価値)を踏まえた指導の工夫	
	総 合 的 な 学 習 の 時 間	① 年間指導計画に基づいた教育課程の適切な実施	
		② 児童生徒の主体性を大切にした指導の工夫	
③ 学校や地域の特性を生かした指導の工夫			
特別活動	① 年間指導計画に基づいた教育課程の適切な実施		
	② 話し合い活動を基にした学級の問題の解決		
	③ 児童会・生徒会活動への積極的な関わり		
生徒指導	① 学校教育目標に基づいた学級経営案の立案		
	② 児童生徒との信頼関係を構築し、それぞれの可能性や活躍の場を引き出す集団づくりの工夫		
	③ 個々の状況に応じた適切な働きかけや関わり		
	④ 保護者や校内組織、関係機関等と連携した組織的・計画的な指導方針や手立ての工夫		
特別な配慮や 支援を必要とする児童生徒への 対応	① 特別支援教育の基本的な知識を基にした個に応じた指導		
	② 児童生徒の多様性への理解を踏まえた指導の工夫		
	③ 合理的配慮に基づいた指導・支援の工夫		
	④ 個別的教育支援計画の活用や個別の指導計画等に基づく個に応じた指導の計画的な推進		
I C T や 情 報 ・ 教 育 デ ー タ の 利 活 用	① 育成すべき情報活用能力を踏まえた指導の工夫		
	② I C T を効果的に活用した指導の充実		
	③ 情報モラル・情報セキュリティを踏まえた I C T 活用の指導		

2 あなたが、この研修を通して、特に解決したい課題について、上記の項目の中から選択し、課題の内容を具体的に、簡潔に記入してください。

選択した項目	解決したい課題の内容

校長としての本研修に対する期待

立
学校 校長氏名

様式 1

令和5年度ステップアップ研修(5年経験者研修) 事前自己評価票
(高等学校教諭用)

学校名	立	学校	氏名	
-----	---	----	----	--

1 あなたは次の項目について、現在、どの程度の取組状況ですか。各項目について、示された観点ごとに4段階（1～4）で評価し、自己評価欄に1～4の数字を記入してください。
〔4：十分に取組んでいる 3：取組んでいる 2：あまり取組んでいない 1：取組んでいない〕

項 目	観 点	自己評価		
学 習 指 導	① 生徒の身近な社会・生活につながるような単元の構想 ② 個別最適な学びや協働的な学びを踏まえた指導の工夫 ③ 校内研究会の企画・運営への積極的な関わり			
		教科指導等	① 年間指導計画に基づいた教育課程の適切な実施	
			② 単元（題材）の目標を踏まえた指導の工夫	
	③ 生徒の実態の適切な把握と分かる授業の展開			
	④ 評価規準に基づいた指導と評価の一体化			
	総合的な探究の時間（課題研究）	① 年間指導計画に基づいた教育課程の適切な実施		
		② 課題意識をもたせ、主体的に課題解決を図らせるための指導の工夫		
		③ 学習状況の的確な把握と個に応じた適切な指導・助言		
	特別活動	① 年間指導計画に基づいた教育課程の適切な実施		
		② 話し合い活動を基にしたホームルームの問題の解決		
		③ 生徒会活動への積極的な関わり		
	生徒指導	① 学校教育目標に基づいた学級経営案の立案		
② 生徒との信頼関係を構築し、それぞれの可能性や活躍の場を引き出す集団づくりの工夫				
③ 個々の状況に応じた適切な働きかけや関わり				
④ 保護者や校内組織、関係機関等と連携した組織的・計画的な指導方針や手立ての工夫				
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	① 特別支援教育の基本的な知識を基にした個に応じた指導			
	② 生徒の多様性への理解を踏まえた指導の工夫			
	③ 合理的配慮に基づいた指導・支援の工夫			
	④ 個別的教育支援計画の活用や個別の指導計画等に基づく個に応じた指導の計画的な推進			
ICTや情報・教育データの利活用	① 育成すべき情報活用能力を踏まえた指導の工夫			
	② ICTを効果的に活用した指導の充実			
	③ 情報モラル・情報セキュリティを踏まえたICT活用の指導			

2 あなたが、この研修を通して、特に解決したい課題について、上記の項目の中から選択し、課題の内容を具体的に、簡潔に記入してください。

選択した項目	解決したい課題の内容

校長としての本研修に対する期待

立	学校 校長氏名
---	---------

令和5年度ステップアップ研修(5年経験者研修) 事前自己評価票
(特別支援学校教諭用)

学校名	立	学校	氏名
-----	---	----	----

1 あなたは次の項目について、現在、どの程度の取組状況ですか。各項目について、示された観点ごとに4段階（1～4）で評価し、自己評価欄に1～4の数字を記入してください。
〔4：十分に取組んでいる 3：取組んでいる 2：あまり取組んでいない 1：取組んでいない〕

項 目	観 点	自己評価	
学 習 指 導		① 児童生徒の身近な社会・生活につながるような単元の構想	
		② 個別最適な学びや協働的な学びを踏まえた指導の工夫	
		③ 校内研究会の企画・運営への積極的な関わり	
	自立活動	① 児童生徒の障害の状態や発達段階の的確な把握	
		② 児童生徒の課題の明確化と具体的な指導内容の設定	
		③ 個別の指導計画に基づいた適切な指導の展開と評価の一体化	
	教科指導	① 年間指導計画に基づいた教育課程の適切な実施	
		② 児童生徒の実態の適切な把握と個別の目標の設定	
		③ 単元（題材）の目標及び個別の指導計画を踏まえた指導の工夫	
		④ 評価規準に基づいた指導と評価の一体化	
	総合的な学習（探究）の時間 ※	① 年間指導計画に基づいた教育課程の適切な実施	
		② 児童生徒の主体性を大切にした指導の工夫	
③ 学校や地域の特性を生かした指導の工夫			
特別活動	① 年間指導計画に基づいた教育課程の適切な実施		
	② 話し合い活動を基にした学級（ホームルーム）の問題の解決		
	③ 児童会・生徒会活動への積極的な関わり		
生徒指導	① 学校教育目標に基づいた学級経営案の立案		
	② 児童生徒との信頼関係を構築し、それぞれの可能性や活躍の場を引き出す集団づくりの工夫		
	③ 個々の状況に応じた適切な働きかけや関わり		
	④ 保護者や校内組織、関係機関等と連携した組織的・計画的な指導方針や手立ての工夫		
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	① 特別支援教育の基本的な知識を基にした個に応じた指導		
	② 児童生徒の多様性への理解を踏まえた指導の工夫		
	③ 合理的配慮に基づいた指導・支援の工夫		
	④ 個別的教育支援計画の活用や個別の指導計画等に基づく個に応じた指導の計画的な推進		
ICTや情報・教育データの活用	① 育成すべき情報活用能力を踏まえた指導の工夫		
	② ICTを効果的に活用した指導の充実		
	③ 情報モラル・情報セキュリティを踏まえたICT活用の指導		

（※ 総合的な学習（探究）の時間については、知的障害特別支援学校小学部は除く。）

2 あなたが、この研修を通して、特に解決したい課題について、上記の項目の中から選択し、課題の内容を具体的に、簡潔に記入してください。

選択した項目	解決したい課題の内容

校長としての本研修に対する期待

--

立

学校 校長氏名

様式 2

令和5年度ステップアップ研修(5年経験者研修) 研修計画書・報告書

学 校 名
校 長 氏 名
対 象 者 氏 名

	研修事項	期 日	研修内容	研修時間	合 計	指 導 者
1	研究授業研修Ⅰ				時間 分	
2	研究授業研修Ⅱ 事例研究研修				時間 分	
				研修時間総計	時間 分	

<様式2に関する留意事項>

※ 標題の「計画書・報告書」については該当しない方を削除すること。

※ 研修事項欄には以下の事項を記入すること。

〔研修事項欄1〕

研究授業研修Ⅰ：教科又は特別の教科道徳、外国語活動、総合的な学習(探究)の時間、特別活動、生徒指導、キャリア教育等から一つ選択する。

〔研修事項欄2〕

研究授業研修Ⅱ：研究授業研修Ⅰと同じ教科等でも、異なる教科等でもよい。

事例研究研修：学習指導上の課題、生徒指導上の課題、自立活動やキャリア教育等の課題から一つ選択する。 } いずれか一つ選択する。

※ 研修内容は具体的に記入すること。

※ 1日の研修時間は3単位時間以上とすること。

※ 研修時間については、時間が分かるように明記すること (例 10:30～11:30)。

※ 指導者については、職名を記入すること。

様式 3

令和 5 年度ステップアップ研修(5 年経験者研修) 事後自己評価票
(小・中・義務教育学校教諭用)

学校名	立	学校	氏名
-----	---	----	----

1 あなたは次の項目について、研修を修了して取組の状況はどうか。各項目について、示された観点ごとに4段階（1～4）で評価し、自己評価欄に1～4の数字を記入してください。
〔4：十分に取り組んでいる 3：取り組んでいる 2：あまり取り組んでいない 1：取り組んでいない〕

項 目	観 点	自己評価	
学 習 指 導	① 児童生徒の身近な社会・生活につながるような単元の構想		
	② 個別最適な学びや協働的な学びを踏まえた指導の工夫		
	③ 校内研究会の企画・運営への積極的な関わり		
	教科指導等 (小学校は外国語活動も含む。)	① 年間指導計画に基づいた教育課程の適切な実施	
		② 単元(題材)の目標を踏まえた指導の工夫	
		③ 児童生徒の実態の適切な把握と分かる授業の展開	
		④ 評価規準に基づいた指導と評価の一体化	
	特別の教科 道 徳	① 年間指導計画に基づいた教育課程の適切な実施	
		② 学級における指導計画の作成	
		③ 題材のねらい(価値)を踏まえた指導の工夫	
	総 合 的 な 学 習 の 時 間	① 年間指導計画に基づいた教育課程の適切な実施	
		② 児童生徒の主体性を大切にした指導の工夫	
③ 学校や地域の特性を生かした指導の工夫			
特別活動	① 年間指導計画に基づいた教育課程の適切な実施		
	② 話し合い活動を基にした学級の問題の解決		
	③ 児童会・生徒会活動への積極的な関わり		
生徒指導	① 学校教育目標に基づいた学級経営案の立案		
	② 児童生徒との信頼関係を構築し、それぞれの可能性や活躍の場を引き出す集団づくりの工夫		
	③ 個々の状況に応じた適切な働きかけや関わり		
	④ 保護者や校内組織、関係機関等と連携した組織的・計画的な指導方針や手立ての工夫		
特別な配慮や 支援を必要とする 児童生徒への 対応	① 特別支援教育の基本的な知識を基にした個に応じた指導		
	② 児童生徒の多様性への理解を踏まえた指導の工夫		
	③ 合理的配慮に基づいた指導・支援の工夫		
	④ 個別の教育支援計画の活用や個別の指導計画等に基づく個に応じた指導の計画的な推進		
I C Tや情報・ 教育データの利 活用	① 育成すべき情報活用能力を踏まえた指導の工夫		
	② I C Tを効果的に活用した指導の充実		
	③ 情報モラル・情報セキュリティを踏まえた I C T活用の指導		

2 次のア～ウの研修が、1の評価項目の向上にどの程度役立ったと思いますか。次の1～4の評価区分の中から該当する番号を記入してください。

	研 修 内 容	評価
ア	研究授業研修Ⅰ(教科等名：)	
イ	研究授業研修Ⅱ(教科等名：)	
	事例研究研修(内 容 名：)	
ウ	校外研修	

評価区分	
十分役立った	4
役立った	3
あまり役立っていない	2
役立っていない	1

※ イは、実施しなかった内容の評価欄に\を引く。

3 本研修を修了して、「研修してよかったこと」や「今後、解決していきたい課題」、「今後、どんな教員を目指すのか」などについて、記入してください。

校長としての本研修に対する総括

立	学校 校長氏名
---	---------

様式 3

令和5年度ステップアップ研修(5年経験者研修) 事後自己評価票
(高等学校教諭用)

学校名	立	学校	氏名
-----	---	----	----

1 あなたは次の項目について、研修を修了して取組の状況はどうか。各項目について、示された観点ごとに4段階(1～4)で評価し、自己評価欄に1～4の数字を記入してください。
[4:十分に取組んでいる 3:取組んでいる 2:あまり取組んでいない 1:取組んでいない]

項 目	観 点	自己評価	
学 習 指 導	教科指導等	① 生徒の身近な社会・生活につながるような単元の構想	
		② 個別最適な学びや協働的な学びを踏まえた指導の工夫	
		③ 校内研究会の企画・運営への積極的な関わり	
	総合的な探究の時間(課題研究)	① 年間指導計画に基づいた教育課程の適切な実施	
		② 単元(題材)の目標を踏まえた指導の工夫	
		③ 生徒の実態の適切な把握と分かる授業の展開	
	特別活動	④ 評価規準に基づいた指導と評価の一体化	
		① 年間指導計画に基づいた教育課程の適切な実施	
		② 課題意識をもたせ、主体的に課題解決を図らせるための指導の工夫	
	生徒指導	③ 学習状況の的確な把握と個に応じた適切な指導・助言	
		① 年間指導計画に基づいた教育課程の適切な実施	
		② 話し合い活動を基にしたホームルームの問題の解決	
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	③ 生徒会活動への積極的な関わり		
	① 学校教育目標に基づいた学級経営案の立案		
	② 生徒との信頼関係を構築し、それぞれの可能性や活躍の場を引き出す集団づくりの工夫		
ICTや情報・教育データの利活用	③ 個々の状況に応じた適切な働きかけや関わり		
	④ 保護者や校内組織、関係機関等と連携した組織的・計画的な指導方針や手立ての工夫		
	① 特別支援教育の基本的な知識を基にした個に応じた指導		
ICTや情報・教育データの利活用	② 生徒の多様性への理解を踏まえた指導の工夫		
	③ 合理的配慮に基づいた指導・支援の工夫		
	④ 個別の教育支援計画の活用や個別の指導計画等に基づく個に応じた指導の計画的な推進		
ICTや情報・教育データの利活用	① 育成すべき情報活用能力を踏まえた指導の工夫		
	② ICTを効果的に活用した指導の充実		
	③ 情報モラル・情報セキュリティを踏まえたICT活用の指導		

2 次のア～ウの研修が、1の評価項目の向上にどの程度役立ったと思いますか。次の1～4の評価区分の中から該当する番号を記入してください。

	研 修 内 容	評価
ア	研修授業研修Ⅰ(教科等名:)	
イ	研究授業研修Ⅱ(教科等名:)	
	事例研究研修(内 容 名:)	
ウ	校外研修	

評価区分	
十分役立った	4
役立った	3
あまり役立っていない	2
役立っていない	1

※ イは、実施しなかった内容の評価欄に\を引く。

3 本研修を修了して、「研修してよかったこと」や「今後、解決していきたい課題」、「今後、どんな教員を目指すのか」などについて、記入してください。

校長としての本研修に対する総括

立 学校 校長氏名

様式 3

令和5年度ステップアップ研修(5年経験者研修) 事後自己評価票
(特別支援学校教諭用)

学校名	立	学校	氏名																																																																																										
1 あなたは次の項目について、研修を修了して取組の状況はどうか。各項目について、示された観点ごとに4段階(1～4)で評価し、自己評価欄に1～4の数字を記入してください。 [4:十分に取組んでいる 3:取組んでいる 2:あまり取組んでいない 1:取組んでいない] <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>観 点</th> <th>自己評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">学 習 指 導</td> <td rowspan="3"></td> <td>① 児童生徒の身近な社会・生活につながるような単元の構想</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 個別最適な学びや協働的な学びを踏まえた指導の工夫</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ 校内研究会の企画・運営への積極的な関わり</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">自立活動</td> <td>① 児童生徒の障害の状態や発達の段階の的確な把握</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 児童生徒の課題の明確化と具体的な指導内容の設定</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ 個別の指導計画に基づいた適切な指導の展開と評価の一体化</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">教科指導</td> <td>① 年間指導計画に基づいた教育課程の適切な実施</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 児童生徒の実態の適切な把握と個別の目標の設定</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ 単元(題材)の目標及び個別の指導計画を踏まえた指導の工夫</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④ 評価規準に基づいた指導と評価の一体化</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">総合的な学習(探究)の時間 ※</td> <td>① 年間指導計画に基づいた教育課程の適切な実施</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 児童生徒の主体性を大切にした指導の工夫</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ 学校や地域の特性を生かした指導の工夫</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">特別活動</td> <td>① 年間指導計画に基づいた教育課程の適切な実施</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 話し合い活動を基にした学級(ホームルーム)の問題の解決</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ 児童会・生徒会活動への積極的な関わり</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">生徒指導</td> <td>① 学校教育目標に基づいた学級経営案の立案</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 児童生徒との信頼関係を構築し、それぞれの可能性や活躍の場を引き出す集団づくりの工夫</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ 個々の状況に応じた適切な働きかけや関わり</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④ 保護者や校内組織、関係機関等と連携した組織的・計画的な指導方針や手立ての工夫</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応</td> <td>① 特別支援教育の基本的な知識を基にした個に応じた指導</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 児童生徒の多様性への理解を踏まえた指導の工夫</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ 合理的配慮に基づいた指導・支援の工夫</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④ 個別的教育支援計画の活用や個別の指導計画等に基づく個に応じた指導の計画的な推進</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ICTや情報・教育データの利活用</td> <td>① 育成すべき情報活用能力を踏まえた指導の工夫</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② ICTを効果的に活用した指導の充実</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ 情報モラル・情報セキュリティを踏まえたICT活用の指導</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> (※ 総合的な学習(探究)の時間については、知的障害特別支援学校小学部は除く。) 2 次のア～ウの研修が、1の評価項目の向上にどの程度役立ったと思いますか。次の1～4の評価区分の中から該当する番号を記入してください。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>研 修 内 容</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア</td> <td>研究授業研修Ⅰ(教科等名:)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">イ</td> <td>研究授業研修Ⅱ(教科等名:)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事例研究研修(内容名:)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td>校外研修</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>十分役立った</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>役立った</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>あまり役立っていない</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>役立っていない</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> ※ イは、実施しなかった内容の評価欄に\を引く。 3 本研修を修了して、「研修してよかったこと」や「今後、解決していきたい課題」、「今後、どんな教員を目指すのか」などについて、記入してください。 校長としての本研修に対する総括 立 学校 校長氏名				項 目	観 点	自己評価	学 習 指 導		① 児童生徒の身近な社会・生活につながるような単元の構想		② 個別最適な学びや協働的な学びを踏まえた指導の工夫		③ 校内研究会の企画・運営への積極的な関わり		自立活動	① 児童生徒の障害の状態や発達の段階の的確な把握		② 児童生徒の課題の明確化と具体的な指導内容の設定		③ 個別の指導計画に基づいた適切な指導の展開と評価の一体化		教科指導	① 年間指導計画に基づいた教育課程の適切な実施		② 児童生徒の実態の適切な把握と個別の目標の設定		③ 単元(題材)の目標及び個別の指導計画を踏まえた指導の工夫		④ 評価規準に基づいた指導と評価の一体化		総合的な学習(探究)の時間 ※	① 年間指導計画に基づいた教育課程の適切な実施		② 児童生徒の主体性を大切にした指導の工夫		③ 学校や地域の特性を生かした指導の工夫		特別活動	① 年間指導計画に基づいた教育課程の適切な実施		② 話し合い活動を基にした学級(ホームルーム)の問題の解決		③ 児童会・生徒会活動への積極的な関わり		生徒指導	① 学校教育目標に基づいた学級経営案の立案		② 児童生徒との信頼関係を構築し、それぞれの可能性や活躍の場を引き出す集団づくりの工夫		③ 個々の状況に応じた適切な働きかけや関わり		④ 保護者や校内組織、関係機関等と連携した組織的・計画的な指導方針や手立ての工夫		特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	① 特別支援教育の基本的な知識を基にした個に応じた指導		② 児童生徒の多様性への理解を踏まえた指導の工夫		③ 合理的配慮に基づいた指導・支援の工夫		④ 個別的教育支援計画の活用や個別の指導計画等に基づく個に応じた指導の計画的な推進		ICTや情報・教育データの利活用	① 育成すべき情報活用能力を踏まえた指導の工夫		② ICTを効果的に活用した指導の充実		③ 情報モラル・情報セキュリティを踏まえたICT活用の指導			研 修 内 容	評価	ア	研究授業研修Ⅰ(教科等名:)		イ	研究授業研修Ⅱ(教科等名:)		事例研究研修(内容名:)		ウ	校外研修		評価区分		十分役立った	4	役立った	3	あまり役立っていない	2	役立っていない	1
項 目	観 点	自己評価																																																																																											
学 習 指 導		① 児童生徒の身近な社会・生活につながるような単元の構想																																																																																											
		② 個別最適な学びや協働的な学びを踏まえた指導の工夫																																																																																											
		③ 校内研究会の企画・運営への積極的な関わり																																																																																											
	自立活動	① 児童生徒の障害の状態や発達の段階の的確な把握																																																																																											
		② 児童生徒の課題の明確化と具体的な指導内容の設定																																																																																											
		③ 個別の指導計画に基づいた適切な指導の展開と評価の一体化																																																																																											
	教科指導	① 年間指導計画に基づいた教育課程の適切な実施																																																																																											
		② 児童生徒の実態の適切な把握と個別の目標の設定																																																																																											
		③ 単元(題材)の目標及び個別の指導計画を踏まえた指導の工夫																																																																																											
		④ 評価規準に基づいた指導と評価の一体化																																																																																											
	総合的な学習(探究)の時間 ※	① 年間指導計画に基づいた教育課程の適切な実施																																																																																											
		② 児童生徒の主体性を大切にした指導の工夫																																																																																											
③ 学校や地域の特性を生かした指導の工夫																																																																																													
特別活動	① 年間指導計画に基づいた教育課程の適切な実施																																																																																												
	② 話し合い活動を基にした学級(ホームルーム)の問題の解決																																																																																												
	③ 児童会・生徒会活動への積極的な関わり																																																																																												
生徒指導	① 学校教育目標に基づいた学級経営案の立案																																																																																												
	② 児童生徒との信頼関係を構築し、それぞれの可能性や活躍の場を引き出す集団づくりの工夫																																																																																												
	③ 個々の状況に応じた適切な働きかけや関わり																																																																																												
	④ 保護者や校内組織、関係機関等と連携した組織的・計画的な指導方針や手立ての工夫																																																																																												
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	① 特別支援教育の基本的な知識を基にした個に応じた指導																																																																																												
	② 児童生徒の多様性への理解を踏まえた指導の工夫																																																																																												
	③ 合理的配慮に基づいた指導・支援の工夫																																																																																												
	④ 個別的教育支援計画の活用や個別の指導計画等に基づく個に応じた指導の計画的な推進																																																																																												
ICTや情報・教育データの利活用	① 育成すべき情報活用能力を踏まえた指導の工夫																																																																																												
	② ICTを効果的に活用した指導の充実																																																																																												
	③ 情報モラル・情報セキュリティを踏まえたICT活用の指導																																																																																												
	研 修 内 容	評価																																																																																											
ア	研究授業研修Ⅰ(教科等名:)																																																																																												
イ	研究授業研修Ⅱ(教科等名:)																																																																																												
	事例研究研修(内容名:)																																																																																												
ウ	校外研修																																																																																												
評価区分																																																																																													
十分役立った	4																																																																																												
役立った	3																																																																																												
あまり役立っていない	2																																																																																												
役立っていない	1																																																																																												

様式 4

令和5年度ステップアップ研修（5年経験者研修）受講予定変更届

令和 年 月 日

殿

立 学校

校長氏名



下記対象者の受講予定の変更について、お願いします。

記

1 対象者名

2 変更の内容

3 変更の理由

<留意事項>

※ 校長は、速やかに市町村教育委員会に報告し、市町村教育委員会は、当該教育事務所を通して県総合教育センターへ報告すること。

なお、県立学校は県総合教育センターへ、市立高等学校は当該市教育委員会を通して県総合教育センターへ報告すること。

様式 5

令和5年度ステップアップ研修(5年経験者研修) 事前自己評価票集計表

(小・中・義務教育学校教諭用)

【 小学校(義務教育学校前期) ・ 中学校(義務教育学校後期) 】 [] 教育委員会

※該当校種を○で囲む

[] 教育事務所

○ 研修対象者が選択した解決したい課題の項目ごとの人数と主な内容を三つ程度記入してください。

項 目	人数	主な内容 (三つ程度)
学 習 指 導		
	教科指導等 (小学校は外国語活動も含む。)	
	特別の教科 道徳	
	総合的な学習 の時間	
	特別活動	
生徒指導		
特別な配慮や支援 を必要とする児童生 徒への対応		
I C Tや情報・教 育データの利活用		

〈留意事項〉

- 1 教育委員会、教育事務所においては、小・中学校別葉にて作成してください。義務教育学校は、小学校か中学校のどちらかに加えて集計してください。
- 2 様式は複数枚になっても構いません。

様式 6

令和5年度ステップアップ研修（5年経験者研修） 修了者一覧

（ ）教育委員会

（ ）教育事務所

（小学校・中学校・義務教育学校・高等学校）

番号	学校名	職員番号	氏 名
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

<留意事項>

- 1 学校名には，設置者名も記入すること（記入例：〇〇町立〇〇小学校）。
- 2 各市町村教育委員会は，管下分を取りまとめて，校種ごと別葉にて作成し，小・中・義務教育学校分は当該教育事務所へ，市立高等学校分は直接，県総合教育センターへ報告すること。

また，各教育事務所は，管内分を取りまとめて，県総合教育センターへ報告すること（県立学校は，報告の必要はない。）。

様式 7

令和5年度ステップアップ研修(5年経験者研修) 事後自己評価票集計表

(小・中・義務教育学校教諭用)

[] 教育委員会
[] 教育事務所

1 項目ごとに集計した人数を記入してください。

		4	3	2	1
ア	研究授業研修Ⅰ				
イ	研究授業研修Ⅱ				
	事例研究研修				
ウ	校外研修				

2 「研修してよかったこと」や「今後、解決していきたい課題」、「今後、どんな教員を目指すのか」などについて、主なものを記入してください。

3 研修全体を通しての意見や要望がありましたら、記入してください。

〈留意事項〉

- 1 教育委員会、教育事務所においては、小・中学校別葉にて作成してください。義務教育学校は、小学校か中学校のどちらかに加えて集計してください。
- 2 様式は複数枚になっても構いません。

様式 4

記入例

令和5年度ステップアップ研修（5年経験者研修）受講予定変更届

市町村立学校は

〇〇市町村教育委員会教育長

県立学校は

総合教育センター所長

殿

令和 年 月 日

立 学校

校長氏名



下記対象者の受講予定の変更について、お願いします。

記

1 対象者名

教諭 〇〇 〇〇

2 変更の内容

令和〇年度ステップアップ研修（5年経験者研修）の令和〇年度への延期

3 変更の理由

育児休業期間を延長するため

〈参考〉

- | | |
|---------------|----------------------|
| ・ 産前休暇期間 | 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで |
| ・ 出産年月日 | 令和 年 月 日 |
| ・ 産後休暇期間 | 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで |
| ・ 前回の育児休業期間 | 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで |
| ・ 今回延長の育児休業期間 | 令和 年 月 日から令和 年 月 日まで |

〈未実施の研修〉

- ・ 研究授業研修（1日間）
- ・ 事例研究研修（2日間）

＜留意事項＞

※ 校長は、速やかに市町村教育委員会に報告し、市町村教育委員会は、当該教育事務所を通して県総合教育センターへ報告すること。

なお、県立学校は県総合教育センターへ、市立高等学校は当該市教育委員会を通して県総合教育センターへ報告すること。